

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年2月5日

諏訪地域振興局

| 提出区分 | 実績 | | | | |
|----------------|--|---|--|----------------------------|---|
| 整理番号 | 13 | 課題区分 | C | | |
| 実施機関 | 茅野・諏訪・岡谷警察署 地域振興局商工観光課 | | | 担当課 | 所属 茅野警察署 地域課 |
| 事業名 | 八ヶ岳連峰を中心とした山岳遭難防止対策 | | | 電話 | 0266-82-0110(内線290) |
| | | | | E-mail | police-chino@pref.nagano.lg.jp |
| 事業概要 | 目的 (目指す姿) | 昨年、八ヶ岳連峰における山岳遭難は、過去最多の記録しており、本年も増加傾向にあることから、山岳遭難防止を図るとともに、諏訪地域の観光イメージアップを図るため。 | | | |
| | 現状と課題 | 八ヶ岳連峰は、首都圏、関西圏を中心に全国から多くの登山客が訪れているが、それに伴い、山岳遭難の発生状況は増加傾向にあり、平成29年中は過去最多を記録し、本年は更に増加している状況にある。 これら山岳遭難の防止を図るため、登山口における登山相談所の開設、登山道におけるパトロールでの指導を実施しているが、常設は厳しく、なかなか安全意識が浸透しないことから、本件対策により、安全登山を図り、諏訪地域の観光イメージアップにもつながるものである。 | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | <p>①「マグネットシート」による山岳遭難防止の啓発活動 山岳遭難防止と観光PRを兼ねた八ヶ岳連峰を題材としたマグネットシートを作成する。 八ヶ岳連峰への登山客は、JR利用者が多く、駅から登山口までの交通手段をタクシー等を利用している。よって、タクシー協会の協力を得て、諏訪地域を走行するタクシーに同マグネットシートを貼付し、広報マンとして活動していただく。 マグネットシートが、多くの登山客の目に触れることにより、山岳遭難防止を図ることができる。とともに、観光イメージのアップにつながる事が期待できる。</p> <p>② 啓発用物品及びチラシの配布による山岳遭難防止の啓発活動 登山案内所や山岳パトロール等の啓発活動に際し、山岳遭難防止に実用性のある啓発物品「ホイッスル付きライト」や、山岳遭難防止を呼び掛けるチラシを配布することにより、登山者・観光客に意識付けをして山岳遭難防止を図る。</p> | | | |
| | 事業期間 | 通年 ～ | | | |
| 成果目標 (成果指標) | 山岳遭難の抑止 昨年及び一昨年の発生状況に比べ、減少を目標としたい。 | | | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 計画(実績)額 | 備考 | |
| | 山岳遭難防止を呼び掛けるマグネットシートによる啓発活動 | タクシー車両貼付用マグネットシートの作製 | 46,656 | マグネットシート(カラー)60枚 | |
| | 山岳遭難防止を呼び掛ける啓発物品配布による啓発活動 | 啓発用チラシの印刷製造 | 8,424 | 104×73mm 1000枚 | |
| | 山岳遭難防止を呼び掛ける啓発物品配布による啓発活動 | 配付用ホイッスル付きライトの購入 | 86,400 | 緊急ホイッスルライト500個 啓発用チラシ封入 | |
| 合 計 | | | 141,480 | | |
| 事業実績・成果 | 事業実績 | | 事業の成果 | | 評価 |
| | <p>11月21日(木)、茅野警察署において、関係警察署長、関係機関・団体による出発式を実施して、諏訪地域のタクシー事業者の各車両にマグネットシートを貼付し、広報啓発活動を実施した。 また、12月22・30・31日、美濃戸口登山口及び奥蓼科登山口において、登山相談所を開設して、登山者に対し、啓発物品及びチラシを配布した。 12月7・8日、東京都新宿区の石井スポーツにおいて、登山学校を実施し、啓発チラシを配布した。</p> | | <p>各事業ともテレビ、新聞等報道関係から取材を受け、活動内容、山岳遭難防止の啓発等効果的に実施できた。 平成30年中は、山岳遭難が多く発生してしまったが、例年発生している年末年始期間中における山岳遭難の発生はなく、1月中も発生を1件に抑えることができた。</p> | | <input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下 |
| 今後の方向性 | 若者から高齢者まで登山愛好者は多く、特に八ヶ岳連峰は、初心者から上級者まで幅広く訪れていることから、今後も山岳遭難の発生が懸念されるので、継続的に広報啓発活動を実施するとともに、各種広報媒体を利用して浸透を図っていきたい。 | | | | |